

# 学校紹介 新聞

# 稲敷市立 桜川小学校



- ◆校長 細谷 順一郎
- ◆児童数 187人
- ◆創立 2021年
- ◆住所 稲敷市柏木4の5



楽しい授業

## ふ化したワカサギ放流



私は、ワカサギの人工ふ化体験を学校でして、その後ふ化したワカサギの稚魚を霞ヶ浦に放流しました。そこで、楽しかったことや思い出に残っていることが三つあります。

一つ目は、ワカサギの観察です。ワカサギが卵からかえった時は、すごく小さくて透明だったので、見つけるのがとても大変でした。

二つ目は、ゲストティーチャーの伊藤義男さんがワカサギについていろいろ教えてくれたので、新たな発見をたくさんすることができました。

三つ目は、ふ化したワカサギの稚魚をみんなで放流したことです。まだ小さいワカサギの稚魚が霞ヶ浦で大きく育ってほしいと思います。そして、ワカサギが絶滅しないようにこれからもワカサギについて勉強していきたいです。  
(4年 柳町苺花)

こんな学校です!



伝統のあんばやし演奏

## 伝統のおはやし演奏



私たちの桜川小学校は、阿波小、古渡小、浮島小の3校が統合して3年前にできた霞ヶ浦湖畔にある自然豊かな学校です。これまでの三つの小学校で行ってきた「ふるさと学習」を桜川小としても行っています。阿波地区に昔から伝わるあんばやしを演奏したり、ホタルやワカサギを育てて放流したりしています。地域の伝統や自然を守ることはとても大切なことです。これからもこれらの「ふるさと学

習」を続けていきたいと思っています。

また、中学校・こども園との交流や異学年交流も行っています。6年生と中学生によるオンラインでのいじめフォーラム、1年生とこども園年長児による秋まつり、月に1回のたてわり班での異学年交流。「『さ』いこうな仲間と『く』じけない心で『ら』ンドセルいっぱい思いやりをもち『が』んばる努力をおしまずに『わ』らい合える学校」をスローガンに、みんな笑顔で元気にいっぱいがんばっています。  
(6年 黒田美伶)



私たちのまち

オオヒシクイを観察する児童たち

## オオヒシクイを観察



私は、小学校の近くの縮波干拓にオオヒシクイの観察に行きました。一番心に残ったことは、実際に望遠鏡で初めてオオヒシクイを見たことです。オオヒシクイの飛んでいるところはとてもかっこよく、じゃれ合っているところはとてもかわいかったです。

また、雁の里の会の方々がオオヒシクイについていろいろ教えてくれました。オオヒシクイが国の特別天然記念物であることや遠く離れたロシアからやってくることなど、初めて知ることがたくさんありました。

観察を通して、私は自分たちの住んでいる地域に国の特別天然記念物であるオオヒシクイが飛んでくることにとても驚きました。そして、これからもずっと、私たちの地域にオオヒシクイが来られるように、この豊かな自然を大切にしていこうと思いました。  
(3年 平野恵衣)

## 児童主体の活動



災害について学習する児童

震災調べてそなえる



総合的な学習の時間に災害についての自由研究をしました。自由研究では、地震、台風、津波などの災害や防災リュックの中身など、いろいろなことを調べることができました。

特に「昔にあった大地震」についてインターネットを活用して調べました。調べていく中で、東日本大震災などのことが書かれていました。私は、このような大地震を経験したことはないけれど、実際に東日本大震災が起きた3月11日のニュースを見てみると、このような地震は絶対に起きてほしくないと思いました。

しかし、地震はいつ起こるか分かりません。だからこそ、今回学校で学んだことを生かして、これからももし大地震やさまざまな災害が起きても、そのとき正しい行動がとれるよう、防災リュックの準備や自分でできることをしていきたいと思っています。  
(5年 坂井莉乃)

次回は4月10日 那珂市立第一中学校です

いつでも  
どこでも

茨城新聞ダブルプラン

# 茨城新聞 +電子版セット

## 新聞購読料+月額300円(税込)

### 合計月額4,100円(税込)

電子版なら手軽に茨城新聞を持ち出せます。紙の新聞も自宅で見たい。そんなあなたにぴったり。

電子版の特長

- ☑過去1カ月分の紙面ビューアー
- ☑クリッピング機能
- ☑記事の検索もできる
- ☑高校野球速報や電子号外
- ☑「電子版コラム」「デジ缶」など独自のコンテンツ

\*クリッピング機能とはお気に入りの記事を保存しておくサービスです。写真は保存出来ません(テキストのみ)。

ダブルプランのお申込みはこちら

【問い合わせ】  
茨城新聞社販売局  
Tel.029(239)3030  
平日9:30~17:00



<ダブルプランお申込み時の注意事項>  
 ■ご自宅が茨城新聞を販売店から定期購読している個人の読者様限定です。  
 ■茨城新聞のご購読が確認でき次第、電子版のご利用ができます。県外の方は利用できません。  
 ■お申込みは購読者ご本人によるインターネットからの申し込みとさせていただきます。販売店からのお申込みはできません。  
 ■茨城新聞をご購読の販売店が新聞購読料と合わせて集金します。  
 ■電子版の利用期間は月単位となります。月中でのお申込みの場合、その月は無料として利用できます。また、電子版の日割リ精算は受け付けておりません。  
 ■茨城新聞電子版はAndroid、またはiOS用のアプリになりますので、基本的にパソコンでご覧になることは出来ません。